

京都・島根 ジフテリア予防接種禍事件 60周年シンポジウム

第1号事件
戦後薬害

- 主催： 京都・島根ジフテリア予防接種禍事件研究会
代表 山本 繁 事務局長 田井中克人（京都市西京区）
- 後援協賛等： 後援：京都市高退職教職員の会、全国薬害被害者団体連絡協議会（予定）、全国予防接種被害者の会、薬害オンブズパースン会議、
協賛：（社）大阪府薬剤師会、（社）京都府薬剤師会、国民医療研究所、新薬学研究者技術者集団
- 趣旨： 1948年11月予防接種法施行直後に京都市および島根県東部で発生し、84人の死亡者を出した世界史上最大の予防接種禍事件は、2002年からの再調査で意外な真相と広がりを見せて来た。事件発生60周年を機に、この事件を薬害事件の原点としてとらえなおす。
- 開催日時： 2009年3月22日（日）午後1:30（1:00開場）
*ジョイント集会として現代の予防接種を考える「ワクチントーク in 京都」が同会場、午前中に開催されます（末尾に概要）。
- 会場： キャンパスプラザ京都（京都市、京都駅烏丸口をですぐ西へ徒歩5分）
第3講義室4階（170席）TEL. 075-353-9111
- 参加申込： 基本的には不要ですが、席を確保したい方は次の方法で申し込んで
(問合せ先) ください。参加申込専用メールアドレス：mtcogr-lj@infoseek.jp
(やむを得ない場合 FAX 0774-21-4533)
- 参加費： 無料（ただし会場費等、若干のカンパをお願いします）
- 内容： 記載事項：氏名、連絡先電話番号、所属など（可能な範囲で）
『京都ジフテリア予防接種禍記録』 1950 京都府衛生部
事件当時のニュース映像上映-「ジフテリア問題 その後」日本ニュース 155号 1948.12.28
(制作：株式会社日本映画社、NHK 所蔵)
- 報告1（和氣正芳）ジフテリア禍事件の真実**-GHQ/SCAP 文書、厚生労働省文書や国内外の文献により、「原因と責任論」において新説を展開する
(和氣正芳「1948年ジフテリア禍事件の原因論」社会医学研究 23巻 05.12.1)
- 報告2（田井中克人）遺族訪問と新事実の掘り起こし**-遺族訪問から行政資料の調査へ発展し、島根県での被害回避可能性と当時公表されなかった京都府下の被害事実を明らかにし、事件と731部隊との関係にも言及する
(田井中克人「京都ジフテリア予防接種禍事件」新風舎文庫 2005)
- 報告3（栗原敦）補償問題再燃および被害者運動**-1970年「種痘禍」以前の予防接種事故、70年代の補償問題再燃と予防接種の被害救済、その後の薬害問題との関連などに触れる
(栗原敦「京都・島根ジフテリア予防接種禍事件」新しい薬学をめざして 07.3~5)
質疑・討論（司会・進行：京都大学・田中真介）



『京都ジフテリア予防接種禍記録』

1950 京都府衛生部

ワクチントーク in 京都

*ジョイント集会のご案内

名称：ワクチントーク in 京都/日時・会場：2009.3.22(日)10:00~12:30、キャンパスプラザ京都4階

主催：ワクチントーク全国（連絡先 事務局 青い保育園 03-3777-1946）

内容：インフルエンザ（新型、鳥も含む）とワクチンについて考え、最近の麻しん対策など予防接種をめぐる状況と課題について交流もしたい→<http://www.ne.jp/asahi/kr/hr/vtalk/>

講師：林敬次さん（医療問題研究会、小児科医）

事前申込：不要 参加費（資料代¥500）

インフルエンザ